

廃石膏ボードから再生された石膏粉(以下、再生石膏粉という)の有効利用については、これまで中性固化材の主材や、セメントおよび石灰系固化材の助剤として、また、改質材として主に土木用資材としての利用が期待されてきたが、強度が期待できないことや環境安全性の懸念からその利用が促進されている状況にはなかった。

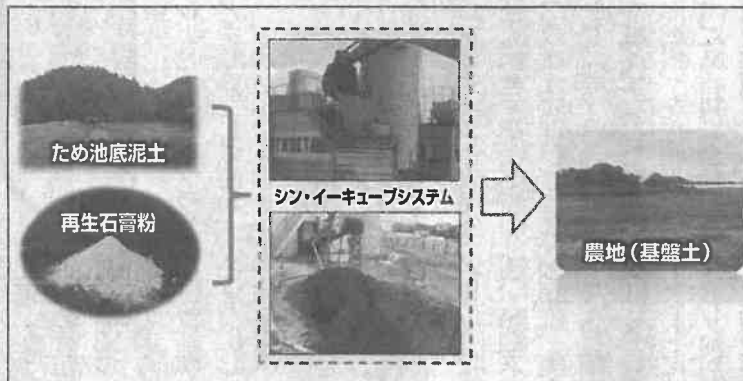
しかし、環境安全性については2019年5月に(国研)国立環境研究所から発刊された「再生石膏粉の有効利用ガイドライン」に基づいた品質管理を徹底

することで確保できること、また、利用用途によっては強度への期待が要求されないもある。一方、(二社)泥土リサイクル協会(愛知県稲沢市、☎0587・23・2713)では、10年以上前から浚渫土砂の有効利用事業において、改良土を土壌材として利用するための固化材選定について、石灰系固化材に加えて再生石膏粉を主材とした改良を提案してきた。こうした中、農林水産省の20年度官民連携新技術研究開発事業において、同協会会員企

再生石膏粉の利用拡大に向けて

飛鳥建設／アイコ／泥土リサイクル協会

ため池・ダム湖底泥土の再資源化技術の開発



新たなシステムを構築

業のパートナーシップにより、「ため池底泥土の再資源化技術の開発」が実施され、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。

土の再資源化技術の開発には、ダム湖堆積土砂の再生に石膏粉を使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。

農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。

このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。このシステムを使用し、農地の再生に貢献している。